

協同

月刊 BUSINESS-LINK 中小企業連携組織活性化情報
京都府中小企業団体中央会

newsline

2012/ 12

第64回 中小企業団体全国大会	1
特集 京都府の労働事情②	2～3
再発見！連携のチカラ No.65 小松共栄工業協同組合（石川県）	4
平成24年 工業統計調査に御回答ください	4
平成24年 年末の交通事故防止府民運動	4
「守りたい・伝えたい京都の食の伝統」を開催 社団法人京都府食品産業協会	5
「干支“巳”展」を開催 京都府伝統工業協議会	5
中央会News 京都府中小企業女性中央会	
レディース中央会全国フォーラムin福島に参加	6
京都府中小企業労務改善集団連合会 先進地視察研修会を開催	6
会長コラム No.4 国際人をやっていますか	7
京都経済お天気	7
事業者の皆様への節電のご協力をお願い	8

第64回 中小企業団体全国大会

～組合 絆 ルネサンス 日本は一つ～

去る10月25日（木）、第64回中小企業団体全国大会が、フェニックス・シーガイア・リゾート「シーガイアコンベンションセンター」（宮崎県宮崎市）において開催された。同大会には全国から中小企業団体の代表者ら約2,500名が参集、『組合 絆 ルネサンス 日本は一つ』を大会キャッチフレーズに、地域産業の再生・発展への支援の強化、東日本大震災からの復旧・復興の加速化、組合等連携組織対策の強化を具体化するための中小企業対策の拡充に関する12項目について決議された。

大会決議においては、決議案に関連して、群馬県中央会の金子正元会長より、「国内産業をしっかりと維持・強化する必要がある」と等とした意見発表が行われ、また、本会の池本周三副会長（京都全魚類卸協同組合理事長・全国水産物卸組合連合会会長）が、中小企業の厳しい現状に対し早急かつ有効な支援強化を訴え、満場の賛同を得て決議案は採択された。

さらに、本大会の意義を内外に表明するため、宮崎県中央会青年部の中村鉄兵会長が、地域社会の絆を再生し、持てる力を組織に結集して、豊かな日本が再生されるよう全力を尽くすことを誓うとした『大会宣言』を高らかに宣言し、満場の拍手の下、採択された。

本会からは同大会に渡邊隆夫会長をはじめ15名が参加、組合功労者として、京都府水産流通協同組合連合会の早瀬隆之理事長、京都中央葬祭業協同組合の松井昭恵理事長が全国中小企業団体中央会会長表彰を受賞された。



京都からの参加者



組合功労表彰を受賞された京都府水産流通協同組合連合会早瀬理事長



中小企業の厳しい現状に対し、早急かつ有効な支援強化を訴えた本会の池本周副会長

第64回 中小企業団体全国大会決議

～組合の絆を活かした地域産業の発展～

- I. 地域産業の再生・発展への支援の強化
 1. デフレ脱却のための総合的な経済対策等の実施
 2. 万全な資金繰り対策の継続及び中小企業金融機能の拡充
 3. 事業承継の円滑化等中小企業関係税制の拡充
 4. 社会保障制度の見直し
 5. 中小企業の実態を踏まえた労働・教育対策の推進
 6. 公正な競争環境の整備、官公需対策の強化
 7. 商店街等及び中小小売商業の活性化支援の拡充
 8. 中小流通業・サービス業振興対策の強化
- II. 東日本大震災からの復旧・復興の加速化
 1. 被災中小企業・組合等の復旧の継続支援の拡充
 2. 原発事故の早期収束
- III. 組合等連携組織対策の強化
 1. 組合組織の位置づけの強化
 2. 中央会の組合等連携組織対策予算の拡充



全国大会翌日、伝統的建造物群保存地区を視察

きずつくよ 君の一言 ぼくの一言 考えよう 言葉の重さ

京都人権啓発推進会議／京都府中小企業団体中央会

京都府の労働事情②

～平成24年度 中小企業労働事情実態調査報告書 要約版～

「中小企業労働事情実態調査」は、中小企業の抱える課題を様々な視座から分析し、各事業主・事業所の個性がいかんなく発揮される環境整備に資するため、昭和39年より実施しています。

前号に続き、平成24年度中小企業労働事情実態調査報告書より「育児休業」、「介護休業」、「障がい者の雇用」、「賃金改定」についてご紹介します。

1. 育児休業について

(1) 育児休業制度の規定の整備

育児休業制度の規定の整備状況を見ると、京都府計では42.1%の整備率で、全国平均と比べ12.0ポイント低くなっている。

産業別に整備率をみると、製造業が41.3%、非製造業が43.2%で特に顕著な差異はみられない。

一方、規模別にみるとその差は顕著で、大規模事業所ほど整備率が高くなっており、「1～9人」の事業所での整備率が15.8%にとどまっているのに対し、「100～300人」の事業所では96.6%とほぼすべての事業所で整備されており、その差は80.8ポイントに達する。

(2) 育児休業を取得した従業員の有無

育児休業を取得した従業員の有無についてみると、京都府計は10.6%でほぼ全国並みである。

産業別にみても、製造業10.9%、非製造業10.1%と差異はみられない。

規模別にみると、規定の整備率の場合と同様に差異が顕著で、大規模事業所ほど取得率が高くなっている。「1～9人」の事業所は取得率が2.0%であるのに対し、「100～300人」の事業所は53.6%に達する。

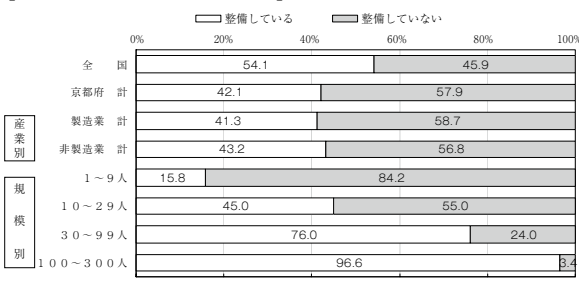
育児休業に関しては、規定の整備、利用実態ともに、小規模事業所における導入の遅れが目立つ。

(3) 育児をする従業員に対する支援

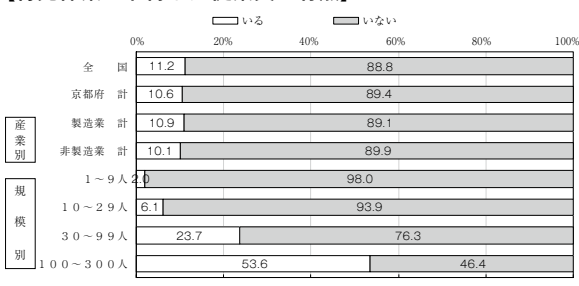
育児をする従業員に対する支援としては、京都府計で「特に支援はしていない」が43.3%に達するが、具体的な支援についてみると、「短時間勤務制度の導入」が26.6%で最も多く、次いで「始業・終業時刻の繰上げ・繰下げ」(25.8%)、「所定外労働の免除」(19.5%)と続き、労働時間のやりくりが主な支援となっている様子がうかがえる。

産業別にみてもほぼ同様の傾向となっている。

【育児休業制度の規定の整備】



【育児休業を取得した従業員の有無】



2. 介護休業について

(1) 介護休業制度の規定の整備

介護休業制度の規定の整備状況を見ると、京都府計で32.8%の整備率で全国平均と比べ12.3ポイント低くなっている。

産業別に整備率をみると、製造業32.7%、非製造業32.9%とほぼ同じである。

規模別にみると、育児休業制度の場合と同様、大規模事業所ほど整備率が高く、「1～9人」の事業所の整備率が8.8%であるのに対し、「100～300人」の事業所では96.6%に達する。

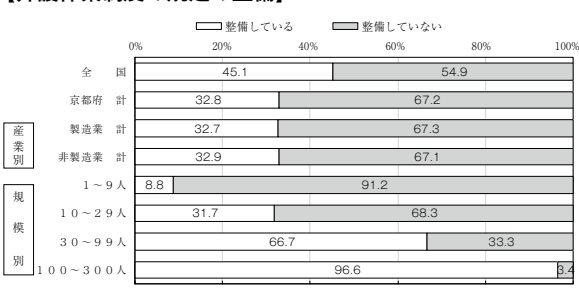
(2) 介護休業を取得した従業員の有無

介護休業を取得した従業員の有無についてみると、「いる」との回答は京都府計で1.9%にとどまり、ほぼ全国並みである。

産業別にみると、製造業(2.6%)が非製造業(1.0%)を若干上回っている。

規模別にみると、「100～300人」の事業所では7.1%が「いる」と答えており、大規模事業所でスコアが高いが、いずれも1割未満の低いスコアにとどまっている。

【介護休業制度の規定の整備】

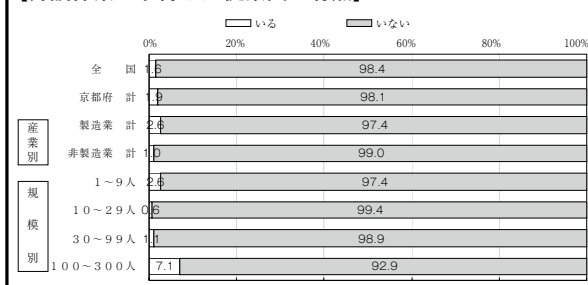


(3) 介護をする従業員に対する支援

介護をする従業員に対する支援としては、京都府計で「特に支援はしていない」が55.1%と多くなっているが、具体的な支援策としては、「短時間勤務制度の導入」が19.2%で最も多く、次いで「始業・終業時刻の繰上げ・繰下げ」(18.4%)、「所定外労働の免除」(16.8%)と続いており、育児における支援の場合と同様に、労働時間のやりくりが主な支援策となっている。

産業別にみると、製造業では「短時間勤務制度の導入」が21.7%と多くなっているのが目立つ。一方非製造業では「始業・終業時刻の繰上げ・繰下げ」が主な支援策となっている。

【介護休業を取得した従業員の有無】



3. 障がい者の雇用について

(1) -1 障がい者の雇用の有無

障がい者を「雇用している」事業所は、京都府計で13.7%で全国平均と比べ5.6ポイント少ない。

産業別に「雇用している」事業所の割合をみると、製造業(16.5%)が非製造業(9.9%)を6.6ポイント上回っている。

規模別にみると差異が顕著で、大規模事業所ほど「雇用している」事業所が多く、「100～300人」の事業所では62.1%に達するのに対し、「1～9人」の事業所では3.4%にとどまっている。

(1) -2 障がい者の雇用人数

障がい者の雇用人数(雇用している事業所1事業所あたりの平均人数)をみると、京都府計で身体障がい者1.48人、知的障がい者1.62人、精神障がい者1.00人でいずれも全国平均を下回っている。

産業別にみると、非製造業では知的障がい者の雇用が2.60人と多くなっているが、その他は製造業も含め2.00人未満にとどまっている。

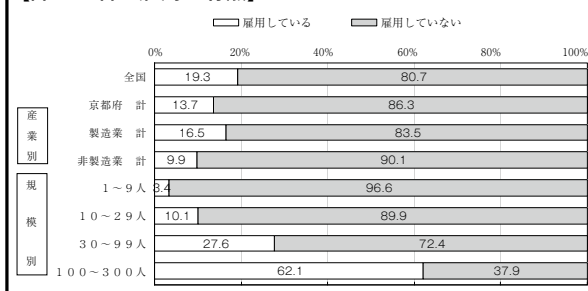
規模別にみると「100～300人」の事業所では身体障がい者2.00人、知的障がい者2.80人と多くなっているが、それ以下の規模の事業所ではいずれの障がい者についても2.00人未満の雇用にとどまっている。

(2) 障がい者に対する配慮

障がい者に対する配慮については、京都府計で「特に配慮は必要ない」との回答が34.8%と多くなっているが、具体的な配慮としては、「担当業務・内容の配慮」が50.7%で突出して多く、以下「短時間勤務など勤務時間の配慮」(14.5%)、「通院・服薬管理など医療上の配慮」(11.6%)と続いている。

勤務時間、業務環境、医療上の配慮等をしつつも、“どのような業務をしてもらおうか”について特に配慮している様子がうかがえる。

【障がい者の雇用の有無】



4. 賃金改定

(1) 賃金改定の実施状況

賃金改定の実施状況をみると、京都府計では「引上げた」が32.3%で最も多く、次いで「今年は実施しない(凍結)」(31.3%)、「未定」(28.8%)と続いており、「引上げた」事業所の割合は前年度調査の31.4%からわずかに0.9ポイント上回っている。

産業別に「引上げた」事業所の割合をみると、製造業が30.9%、非製造業が34.3%で、非製造業が3.4ポイント上回っている。

規模別に「引上げた」事業所の割合をみると、大規模事業所ほどスコアが高く、「1～9人」の事業所で19.1%であるのに対し「100～300人」の事業所では71.4%に達する。

(2) 改定額、率(賃金改定で引き上げを行った事業所に対しての質問)

賃金改定の額・率をみると、京都府計の加重平均で、改定後の賃金:270,718円、同昇給額:4,950円、同昇給率:1.86%で、前年度調査同様いずれも全国平均を上回っている。

産業別にみると、改定後の賃金では非製造業(290,069円)が製造業(259,995円)を上回り、昇給額も非製造業が上回ったが、昇給率では製造業が上回った。

改定後の賃金が高い業種をみると「窯業・土石製品製造業」(326,636円)、「卸売業」(302,277円)等がある。また、昇給額では「繊維・同製品製造業」(24,217円)、「総合工事業」(9,250円)、「職別工事業」(9,080円)、「設備工事業」(9,778円)等がある。

規模別にみると、改定後の賃金は「100～300人」の事業所が280,704円で最も高く、昇給額、昇給率では「1～9人」の事業所が最も高くなっている。

エコステージ認証取得で生き残りを図る共同受注組合

小松共栄工業協同組合（石川県小松市）

主要顧客である大手建設機械メーカーのCSR調達に
対応するため、グループエコステージの認証取得に組み
込んだ結果、収益性財務体質の改善など企業体質の改善を実現。

背景と目的

当組合は、大手建設機械メーカーを主力ユーザーとする
共同受注組織として早くから情報化に取り組み、現在、高
度な電子受発注システムを稼働させている。

一方、ユーザーであるメーカーのCSRへの取り組みは
早く、取引先に対するグリーン調達の要求も平成18年
には正式の申し出があった。具体的にはISO14001または
エコステージの取得によるEMS（環境マネジメントシ
ステム）の実現であった。しかしながら企業ごとにそれら
に取り組むには人的にも経済的にも困難であることから、組
合としてグループエコステージ認証取得に取り組むことと
なった。

事業・活動の内容

エコステージとは、従来の経営管理システムに環境の視
点を導入し、経営とリンクした環境管理システムを構築す
るものである。個別企業としてではなくグループとして取
り組むので、統括組織である組合が環境に関する全体計画
を策定し、そのなかで具体的な取り組み事項を設定した。

そこから各組合員の目標と実施事項にブレークダウン
し、各々PDCAサイクルを廻して取り組んだ。認証取得に
あたってはグループの中で模範となるモデル企業を指定し
たり、他社への見学会や企業間で相互に内部監査を実施す
るなど、単独企業ではなしえない、グループならではの活
動を行った。



各社で「私の宣言（取組内容）」を掲示



先進企業の見学

成果

パートや派遣社員、外国人研修生も含めた全員参加で切
磋琢磨しながら取り組んだ結果、平成21年にはグループ
エコステージ1（グループ17社+事務局）を、22年には
グループエコステージ2（グループ8社+事務局）をそれ
ぞれ国内初取得した。売上高対産業廃棄物の割合など、ス
テージ1、2とも設定した目標をほぼクリアしており、活
動を継続することによって各企業の財務体質や収益性の改
善、客先からの信用向上等に大きく貢献している。エコス
テージ1レベルで、組合員から「3Sの推進によりダムが
排除され、業務効率が大幅に改善されかつ利益の向上に繋
がることがわかった」などの声が聞かれ、客先の信用を得
るための自然環境に対する取組が、結果的に企業の収益性
と財務体質の改善に貢献し、PDCAサイクルを廻し経営改
善を推進する企業体質をもたらしていることは大きな発見
であり成果であった。

《組合DATA》

小松共栄工業協同組合
〒923-0804 石川県小松市光町25番地2番地
☎ 0761-24-0771 FAX 0761-24-0774
URL <http://Komatsu-Kyoei.jp/>

平成24年

工業統計調査にご回答ください

工業統計調査

この調査は、統計法に基づく基幹統計調査で、平成24年
12月31日を調査日として実施されます。

調査票でお答えいただいた内容は、統計作成の目的以外（税
の資料など）に使用されることはありませんので、調査票へ
のご回答をお願いします。

<調査対象>

製造業を営む事業所で以下のとおり

甲調査：従業員（臨時雇用者を除く）30人以上の事業所

乙調査：従業員（臨時雇用者を除く）4人～29人の事業所

<調査内容>

従業員数、製造品出荷額、現金給与総額、原材料使用額、
有形固定資産 など

調査の内容に関するお問い合わせは、

京都府政策企画部調査統計課産業統計担当まで。

（☎075-414-4509, 4510）

平成24年

年末の交通事故防止府民運動



京都府交通対策協議会

～年の瀬も 笑顔とマナーで 事故防止～

実施期間 平成24年12月11日（火）～12月31日（月）

- 運動重点**
- 子どもと高齢者の交通事故防止
 - 自転車の安全な利用の促進
 - 悪質・危険運転の追放
 - 夜間の歩行中の交通事故防止
（反射材用品等の着用促進）

「守りたい・伝えたい京都の食の伝統」を開催

社団法人京都府食品産業協会

社団法人京都府食品産業協会（会長 山本隆英氏・京都府パン工業組合理事長）では、11月16日(金)から18日(日)の3日間、ディリパ京都(京都市下京区)において、京の食文化を多くの方々に体験していただく秋のイベント「守りたい・伝えたい京都の食の伝統」を開催した。京ブランド認定事業で認定をうけた商品（京都吟味百撰）の展示・取寄せコーナーや丹波黒大豆の甘みを引き継いだ白い大豆の新品種「京白丹波」を使用した豆御飯の素や納豆、豆腐の販売や宇治茶の深みのある味わいが楽しめる「水出し玉露の接待」、日本の文化であるお箸の作法を学ぶ「お箸教室」とお箸を使った「白大豆の摘み取り」など、子供から大人まで楽しめる内容で展開した。



京都吟味百撰の展示、
取寄せコーナー



手作り教室の風景



お箸教室での白大豆の摘み取り

「干支“巳”展」を開催

京都伝統工芸協議会の常設展示場「ギャラリー圓夢」では、京の工芸展をご覧いただけます。現在は、「干支“巳”展」を開催し、伝統工芸品を展示・販売していますので、ぜひご来場ください。

日 時 平成24年11月1日(木)～平成25年1月8日(火)
10:00～16:30 (最終日は15:00まで)
※～12月10日(月)は12:00～18:30 ※水曜休廊日

場 所 ギャラリー圓夢
京都市東山区高台寺西側圓徳院敷地内
京・洛市「ねね」2F

《団体DATA》

京都伝統工芸協議会
〒615-0042 京都市右京区西院東中水町17
京都府中小企業会館4階
京都府中小企業団体内
☎ 075-314-7132 FAX 075-314-7130
URL <http://www.kougei-kyoto.jp>



平成25年 新入社員研修



少人数の新人研修に最適です。
二日間の研修を通して学生から社会人への
意識の切り替えをお手伝いします。

受講料 2日間 42,000円(税込)

※ご希望の1日のみ、
¥25,200 で受講いただくこともできます。

早期申込割引
12月中のお申し込みで

掲載価格より **10% OFF!**

	1日目	2日目
①	2月19日(火)	2月20日(水)
②	3月7日(木)	3月8日(金)
③	3月26日(火)	3月27日(水)
④	4月2日(火)	4月3日(水)
⑤	4月16日(火)	4月17日(水)
⑥	4月25日(木)	4月26日(金)
⑦	5月16日(木)	5月17日(金)
⑧	5月28日(火)	5月29日(水)

講習時間 10:00～17:00(6時間)

株式会社アイシーエル

オーダーメイド研修・講師派遣承ります。お気軽にお問い合わせください。

ICL

☎ **075-254-7311**

URL <http://www.icl-web.co.jp> E-mail seminar@icl-web.co.jp

セミナー会場

京都府京都市下京区函谷鉾町 80

京都産業会館2階 アイシーエル研修室

営業時間 9時～18時 (土・日・祝日は休業)

平成24年度 レディース中央会全国フォーラム in 福島に参加

去る11月14日(水)、芦ノ牧温泉 大川荘（福島県会津若松市）において、中小企業の女性経営者等の資質向上と組合女性部の組織強化及び未曾有の被害をもたらした東日本大震災の被災地支援を目的に、全国中小企業団体中央会の主催（全国レディース中央会共催）によるレディース中央会全国フォーラムが開催された。同フォーラムには、全国から約200名、本会からも伊庭節子理事（京都府中小企業女性中央会 会長）をはじめ京都府中小企業女性中央会会員が参加、輝く女性のパワーが福島に参集した。

オープニングセレモニー終了後、株式会社社長岡塗装店の常務取締役 古志野純子氏より、『中小企業経営 女性の力で一步前へ』と題した基調講演が行われた。古志野氏は、同社におけるワーク・ライフ・バランスを念頭に置いた様々な独自の制度を紹介され、「技能伝承のカギは、若者の定着をモットーに社員全員がいきいきと働くことのできる職場環境づくりを進めていくことである。社員とのコミュニケーションや柔軟な対処が未来をつくる。」と述べられた。

続いて、福島県いわき市に拠点を置き、広く美しくフラダンスを広めていきたいという願いのもと活動を展開されているハーウラ ラウラーナニ主宰のリノラニあゆみ氏より、「被災地復興と女性の果たす役割」と題した事例発表が行われた。リノラニ氏は、「東日本大震災により、地元いわき市は地震・津波による被害だけでなく、原発事故による風評被害も多く受けた。全国からの暖かい支援をいただいたことに感謝し、復興に向けて元気に頑張っていることを伝えられたらと全国各地で元気にフラを踊っている。福島のかいれいな海、かいいいな山への復興を願い、これからも笑顔で踊ってきたい。」と述べられた。

翌15日(木)はオプション観光に参加、重要伝統的建造物群保存地区に選定されている大内宿、鶴ヶ城の視察を行った。



基調講演



大内宿視察

京都府中小企業労務改善集団連合会 先進地視察研修「関宿とシャープ亀山工場」の訪問

本会が事務局を受託している京都府中小企業労務改善集団連合会では、視察研修事業を毎年開催しており、今年度は11月16日（金）に旧東海道の宿場町「関宿」と「シャープ(株)亀山工場」（ともに三重県亀山市）を訪れた。

国の重要伝統的建造物群保存地区（昭和59年選定）に選定されている「関宿」では、亀山市観光協会から取組経過や関宿の特徴を伺った後に、同協会の案内のもと建造物群を視察した。

また、創業100年を迎えたシャープ(株)の亀山工場では、世界に誇る高度な液晶生産技術とともに、太陽光発電、水の浄化によるリサイクル利用、コージェネレーション・システムなど環境負荷低減の対応やその運用管理等について説明を受けるとともに、工場内に設置する見学コースに沿って、シャープ(株)のものづくりの変遷や新技術を活用した商品紹介、太陽光発電の設置状況や生産工程の視察を行った。

今回の視察研修では、地域資源を活用した観光振興に取り組む関宿と、品質向上と環境対応等に邁進するシャープ(株)亀山工場を視察し、保存や修景など守ることにより魅力を高めてきた前者と、新たな需要を創造していくために変革・革新を繰り返している後者の取り組みに触れ、守ることと変わることの対極に接する機会となり、多くの参加者から興味深い研修であったことが伝えられた。



関宿



シャープ(株)亀山工場

国際人をやってますか



師走で正月と忙しい。ただ困るのは年末の祝日「天皇陛下の誕生日」。推測だが陛下が望まれたことではないだろう。祝祭日がいくら増えても給料が変わらない役人の発想だ。

さてその忙しい師走の後は正月、これはこれで又忙しい。何しろおめでたい。新年の慶祝ファッションで挨拶に飛び回っている、黒ダブルの背広、そして白いネクタイおなじみの風景。いつごろからこのスタイルが定番ファッションになったか、昭和34年の今上陛下のご成婚がその引き金になった。それまではモーニング服が婚礼の定番ファッションだった。ただ重苦しく大仰と思われた。もっと手軽に、簡便が文化と同じように思われた時代、黒のダブルと白ネクタイが急にもてはやされた。ちょうどホテルが婚礼の披露宴会場として一般に使われ始めたのと時を同じくした。紋付羽織袴など和装は時代遅れと、一顧もされなかった時代だ。

時がたち国際化も憧れから当たり前になった。でも白いネクタイと黒ダブルの背広は定番の慶祝ファッション。ただ買い換える必要のない服装、太った体に昔の小さな服…あまりにも異様。まずダブルはシングルよりフォーマル度は劣る。又白いネクタイを白シャツに結ぶのは欧米では通常チンピラ・ファッションの常、そろそろ変えるとき。因みに欧米ではグレーのネクタイがスタンダード。和装ならば何でも国際化、袴なしでも洋装の略礼装に匹敵。日本の国際化とは、かの国のファッションで勝負すること。ならば彼らのファッションの水準に達して欲しい。蛇足だが英語でネクタイは単にタイと言う。

渡邊 隆夫

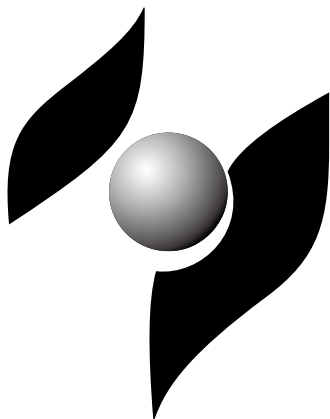
京都経済お天気

中小企業団体情報連絡員10月分報告より

■更に冷え込む景況感

	業界景況天気図	概 況
全 体	9月 → 10月  	長引く円高、激化する価格競争、消費の低迷など厳しい経営環境の中で、各業界・企業の努力や各種支援策の活用により持ちこたえているものの、先行きに明るい兆しがなかなか見えず景況感は一層冷え込んでいる。
製造業 9月  ↓ 10月 	繊維・同製品  	実需期にもかかわらず荷動きが悪い。先行き受注に関しても厳しい状況が続いている。
	出版・印刷  	特に変化はなく、厳しい状況で推移している。
	鉄鋼・金属  	10月度は先月より更に悪く、状況は依然として低迷している。要因は、やはり長引く円高等の影響が大きく、大企業が生産拠点を海外へ移した結果だと思う。既に資金繰りも悪化してきており今後の動向が心配である。
	一般機械等  	国内における大型設備投資が停滞しており、これら受注物件が極端に減少している。企業間格差はあるが全般的に悪化の傾向にあり、好転の材料も全く見当たらず、先行きが懸念される。
	その他製造業  	プラスチック製品製造業界では、海外経済の失速に加えて日中関係の悪化による輸出低迷の影響が、中小下請けのプラスチック企業にも及び売上高が減少してきている。陶磁器・同関連製品製造業界では、「清水焼の郷まつり」を開催、気候と天候に恵まれ昨年を上回る人出で賑わった。
非製造業 9月  ↓ 10月 	卸 売  	化学製品卸売業界では、デフレ傾向に歯止めがかからない中、円高ではあるものの輸入品の数量減少が影響し、輸入品の価格は下がらない。機械器具卸売業界では、尖閣諸島の領土問題の影響により、自動車製造・部品・半導体製造等、日本の下請企業まで厳しい状況にある。
	小 売  	自動車小売業界では、9月にエコカー補助金が終了したことによる反動が見られ、新車販売が対前年同月比20%減少した。燃料小売業界では、ガソリン価格は前月比1リットル当たり4円～6円の値下がり、販売量も前月比10%程度の減販となり、サービスステーション経営は厳しさを増すのみである。
	商店街  	10月に入り、人通りはあるが景気は依然として悪く、各店とも苦戦している。海外からの観光客は、欧米系はかなり見られたが、アジア系は非常に少なく、売上の見ると大きな影響はない。やはり日本国内の客の移動が活発にならないと、景気全体としては上向かないと思う。
	サービス  	旅館業界では、修学旅行のシーズンであるが、生徒数の減少と高校生の京都宿泊減で売上が厳しくなっている。一般旅行者は少なくなっており、業界は全体的に厳しいと思われる。情報サービス業界では、平成24年10月以降の新規引合は、非製造業では引き続き増加、受注価格は低価格で推移している。
	建 設  	造園工事業界では、業界全体としては仕事量は減少しているが、業者数はそれ程減っていない。来年の仕事にも事欠く業者がいるという現実には誠に厳しいものがある。
	運輸・倉庫  	道路貨物運送業界では、荷主側の情報によると荷動きは一層鈍る模様。道路旅客運送業界では、タクシー事業の最大のポイントは人材（乗務員）の確保であるが、ここしばらくは応募者が非常に少なく、人材確保に苦慮している。

 快晴 DI値 40以上	 晴れ 20～40未満	 くもり 20未満～△20未満	 小雨 △20～△40未満	 雨 △40以上
--	---	---	---	--



人を思う。未来を思う。

商工中金

新型定期預金

マイハーベスト

有利な金利設定

通常の債券・定期預金（固定金利）より 高めの金利（当金庫内比較）
をご提供します。ただし、原則として満期日前の解約はできません。

固定金利の半年複利

着実に、そして効率よく資産を増やせます。

1年、2年、3年から期間が選べる

将来の計画に合わせてお好きな期間を選べます。

- お預け入れは、50万円以上 1円単位です。
- お預け入れは、個人のお客さまに限らせていただきます。
- 詳しくは店頭のチラシまたはホームページをご覧ください。

商工中金 京都支店

〒600-8421 京都市下京区綾小路通烏丸西入童侍者町 159-1

TEL 075-361-1120

<http://www.shokochukin.co.jp/>



人を思う。未来を思う。

商工中金



事業者の皆様への 節電のご協力をお願い

経済産業省

今冬、いずれの電力管内でも瞬間的な需要変動に対応するために必要とされる予備率3%以上を確保できる見通しです。他方、大規模な発電所のトラブルが発生した場合、安定供給が出来ない可能性が懸念されます。

政府、電力会社においては、引き続き供給力の確保に最大限の努力をして参ります。大変なご迷惑をおかけしますが、以下のとおり節電のご協力をお願い申し上げます。

<節電をお願いしたい期間・時間・節電目標>

期間・時間 平成24年12月3日～平成25年3月29日までの
平日9:00～21:00

(九州電力管内については8:00～21:00)

節電目標 数値目標を伴わない一般的な節電にご協力をお願いします。

なが——い、おつきあい。

貯める、運用する、借り入れる、
積み立てる、備える、管理する…

京都銀行は、人生のさまざまなシーンで

皆様を応援します。

お気軽にご相談ください。

飾らない銀行

京都銀行

<http://www.kyotobank.co.jp/>

月刊中小企業連携組織活性化情報 **協同**

12/2012 平成24年12月1日発行 通巻792号

●編集・発行●

京都府中小企業団体中央会

京都市右京区西院東中水町17(西大路五条下ル) 京都府中小企業会館4階

☎ 075-314-7131 FAX 075-314-7130

URL <http://www.chuokai-kyoto.or.jp> E-Mail web@chuokai-kyoto.or.jp

表紙タイトル「協同」背景色は、京都府印刷(工)が京にゆかりのある名前を付した12色を創作したうちの「東寺の五重塔色」です。